

福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.69

発行日：2021年 8月13日

発行責任者：西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 TEL・FAX 093-662-9278

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園4丁目5-16 E-mail krc-fn@jcom.home.ne.jp

福岡ランニングセンター(FRC) <https://www.njsf.net/zenkoku/pref/fukuoka/running/>



「第13回にこにこペースの平和マラソン」

全員が猛暑の中完走！

オリンピックは平和の祭典と言われています。新日本スポーツ連盟は「スポーツは平和とともに」をスローガンに掲げて活動しています。

平和でこそスポーツはできます。ゆっくり走りながら、平和をアピールしていこうと「にこに

こペースの平和マラソン」を始めて今年で13回目を迎えました。

ゴールに八幡駅前の小伊藤山公園を選んだのは、戦時中ここにあった防空壕に逃げ込んだ300人余りの市民が、防空壕の中で犠牲になったからです。

1945年8月8日の八幡大空襲で、八幡の町は焼け野原になりました。しかし、八幡製鉄所には爆弾は落ちませんでした。市民を狙い撃ちにしたのです。爆弾で焼き尽くされた市内の上空を炎と黒煙が覆いました。翌、8月9日に原子爆弾を積んだ爆撃機が、小倉の上空に現れて原子爆弾を落とそうとしましたが、厚い雲と黒煙に覆われて目標が定まらず、長崎に投下されました。八幡大空襲の黒煙が小倉の町を覆い隠したともいわれています。

戦後、公選初代の守田通隆（もりたみちたか）八幡市長によって、八幡駅前には平和を願い復興を目指して整備されました。ロータリーの真ん中には平和記念像（女神の像と鳩）があります。また、日本を代表する村野藤吾氏設計の八幡市民会館や美術館、八幡図書館等や市立病院を造り「文化の拠点」として発展させました。又、社会教育が軽視されていた事を憂い、中央公民館を建て、日本一の公民館活動と称されました。



平和記念像

しかしながら、2016年に八幡図書館は閉館され壊されました。中央公民館も壊されました。

八幡市民会館は壊されそうになりましたが、反対運動によって残されています。こうした戦後復興の熱い思いが、風化されて無くならないためにもゴールとして選びました。



門司港駅スタート

今年も7月25日（日）午前8時45分に、門司港駅からニュースカーと給水スタッフと2名のランナーが約20.4kmを走りました。下曾根駅からは午前9時に、給水スタッフと1名のランナーが約17kmを走りました。八幡駅からは午前9時に、洞海湾を一周して給水スタッフとランナー3名が約20.5kmを走りました。そして折尾駅からは午前10時半に、給水スタッフとランナー3名が約8.4kmを走りました。

その他、自宅から9kmを走って参加したランナーや、自宅から歩いて参加した方もいました。

小伊藤山公園には、12時過ぎに全員がゴールして、参加者全員に参加証の贈呈、神田 孝県連盟理事長の挨拶を受け、慰霊塔の前で集合写真を撮って散会しました。

この日の気温は29℃で、風も強く蒸し暑い日でした。

門司港駅と下曾根駅スタート組は途中、小倉の勝山公園で合流して走りました。また、八幡駅の洞海湾一周と折尾駅スタート組は途中、偶然にも黒崎駅前で合流して一緒に走りました。

今回の参加者はスタッフ6名、ランナー10名、ウォーク1名の合計17名になりました。



黒崎駅前

久住合宿の中止について

前号のFRCニュースにて「久住で走り込みをしませんか！」と合宿のご案内をしましたが、福岡県は7月28日に「福岡コロナ警報」が発動され、また8月2日より「蔓延防止等重点措置」の適用地域となりました。

よって、不要不急の県境をまたぐ移動の自粛が要請されていますので、8月21日～22日の合宿は中止とします。

今後合宿をどうするかは、9月以降のコロナ禍の状況をみて役員会で判断します。

練習会報告と次回の案内

今年度3回目の練習会を、8月1日（第一日曜日）予定していましたが、前日11時発表の気象庁予報で「1日を通して雨」との事でしたので、早々に中止を決定しFRC役員と声掛けしていた会員さんに連絡しました。

次回は9月の第一日曜日5日9時「自然の館」集合です。トレイルランニング班と桃園運動広場周回コース班に分かれて行きます。詳細なメニューは当日のメンバーで決めます。

日時 9月5日（日）9時集合

場所 自然の館（〒806-0013 北九州市八幡西区清納 1-1-10）

更衣・シャワー・トイレの利用可

参加費 会員 300 円、会員外 500 円（保険料含む）

参加される方は、事前に下記へ連絡をください。参加費は当日集めます。

問合せ 携帯 090-7455-1853（西村）

月例マラソンの案内

8月の第三日曜日（15日）はお盆期間中のため月例マラソンはお休みです。次回は9月の第三日曜日19日、集合場所は直方市水辺館付近の遠賀川河川敷公園内（勘六橋下）、暑さ対策のため前回と同じく受付8時～、競技9時～です。お間違えの無いようお願いいたします（10月以降は受付9時～、競技10時～に戻ります）

【投稿】東京オリンピックはコロナに打ち勝ったあかしといえるか？

今回の東京オリンピックは五輪招致に躍起となっていた安倍晋三元首相が「原発の汚染水がコントロールされている」とか「日本の7月8月は快適な競技環境を保証します。」等、大うそから始まりました。

1980年のモスクワ五輪で日本がボイコットして以降、国際オリンピック委員会（IOC）と日本オリンピック委員会（JOC）は政治の介入を防止し、組織の自律性を強化するための取り組みをしてきましたが、そこが今回ひっくり返りました。

昨年3月のIOCバッハ会長と安倍首相との電話会談で、五輪の1年延期が決定されました。IOCと開催都市契約を結んでいるのはJOCと東京都です。なぜ首相が決定するのか？

この時の公約は「コロナに打ち勝った証として完全な形で開催」というものでした。結局守られず「安全・安心」の根拠も示さずに、東京五輪を強行して新型コロナ感染爆発をおこし、医療崩壊を引き起こしています。これは明らかに打ち勝ったのではなく失政です。

そして、自身の責任には向き合わず、莫大な赤字のツケは国民や都民が払うこととなります。週刊ポストによると「その総費用は『4兆円』に迫ることになりそうだ。テレビ観戦しかできない五輪に、それだけの価値があったと思う国民はどのくらいいるだろうか。」（記：西村）

《役員だより》 専門家集団が警告したとおりコロナ禍（コロナ政策禍？）第5波が来ました。

◆恒例の夏合宿も中止になりましたので再び「ステイホーム」で読書に耽ることとします。◆よって今回も「スポーツのひろば」最新号（2021年7・8月号）の記事紹介です。

①「コロナに負けず全国各地で快走」と「のおがたこたけ月例マラソン」を含む新日本スポーツ連盟所属団体による各地のランニング行事が、巻頭カラーで紹介されました。

②特集は「東京オリ、パラ」です。中止を求める声の広がり（朝日、西日本の社説、文化団体連絡会議、保険医団体連合会等の声明）を紹介し、5月17日付全国連盟決議（東京都連盟と

の連名)「組織委員会、東京都、JOCはIOCに対して東京オリンピック中止決定を要請するよう求めます」の全文が載っています (2021.8.4 記： 洸上)